

I. 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、本県のワーク・ライフ・バランスや男女共同参画に係る現状と課題や施策ニーズを幅広く抽出し、平成27年度に策定する「男女共同参画計画」及び今後の男女共同参画に関する施策の企画・立案等の基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査項目

- (1) 男女共同参画社会について
- (2) 仕事と家庭の両立について
- (3) 就業状況・職場環境について
- (4) 家庭生活について
- (5) 配偶者・パートナーからの暴力について
- (6) 地域活動等、社会参加について
- (7) 防災・復興について
- (8) 男女共同参画社会の実現に向けた取組みについて

3. 調査設計

- (1) 対象地域 山形県全域
- (2) 調査対象 県内在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 調査期間 平成26年8月～9月
- (4) 調査方法 郵送およびウェブアンケートによる調査
- (5) 抽出方法 郵送：層化二段階無作為抽出法
ウェブ：抽出なし（インターネットによる公開アンケート方式）
- (6) 標本数 郵送：2,000人
- (7) 調査実施機関 AISOHO企業組合

4. 回収結果

- (1) 回収数（率） 郵送：911件（45.6%） ウェブ：107件
- (2) 有効回収数 郵送：900件（45.0%） ウェブ：106件
無効数 郵送：白紙1件、居住地域不明10件
ウェブ：全問無回答 1件

5. 調査結果の集計表示法（郵送による調査）

(1) 郵送による調査において、地域別に統計的信頼度が確保される標本数となるよう、次の通りの標本数と抽出ウエイト、集計ウエイトとしています。

地 域	抽出ウエイト	標本数	有効回収数	集計ウエイト	規正標本数
村山地域	1 / 2	8 9 6	3 9 2	2	7 8 4
最上地域	1	2 7 0	1 4 1	1	1 4 1
置賜地域	1 / 2	3 6 3	1 5 6	2	3 1 2
庄内地域	1 / 2	4 7 1	2 1 1	2	4 2 2
計		2, 0 0 0	9 0 0		1, 6 5 9

(2) 地域別の抽出率が異なるため、回収数に集計ウエイトを加重し規正しました。調査結果はこの規正標本数を100.0%として算出しました。ただし、端数処理の関係で各項目の合計が必ずしも100.0%とならないことがあります。

6. 標本抽出法（郵送による調査）

母集団：山形県内に居住する満20歳以上の男女個人

標本数：2, 0 0 0人

地点数：1 3 0地点

抽出法：層化二段階無作為抽出法

【層 化】

山形県内を4地域に区分し、それぞれの都市規模により9層に層化しました。

地 域	層	市町村
村山地域	山形市	山形市
	その他の市部	寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市
	町村部	山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上地域	市部	新庄市
	町村部	金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜地域	市部	米沢市、長井市、南陽市
	町村部	高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内地域	市部	鶴岡市、酒田市
	町村部	三川町、庄内町、遊佐町

(注) 本調査については、平成22年国勢調査のデータを利用しています。

【 調査地点数及び標本数の配分 】

- (1) 平成22年国勢調査の調査区を第一次抽出単位として使用し、地域・市町村部各層に対して130の調査地点を配分しました。
- (2) 調査地点の抽出は、調査地点が2点以上割り当てられた層については、抽出間隔（層における調査区数の合計÷層で算出された調査地点数）を算出し、乱数表にてスタート地点を決定し、等間隔抽出法により抽出しました。市町村の配列順序は平成22年国勢調査時における「市区町村コード一覧」に従いました。
- (3) 各調査地点の標本数を14～16程度と設定しました。
あらかじめ各層に割り当てられた地点数×15で、地点ごとの抽出数を算出しました。地点ごとの合計抽出数が、与えられた抽出数と差がある場合は、各市町村の人口に応じて比例配分をし、標本数を決定しました。
※ただし最上地域は他地域の2倍の地点数を割り当て、ウェイトをかけました。
- (4) 調査時点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地・字等を指定）で、選挙人名簿から等間隔抽出法によって抽出しました。なお、抽出に際して、名簿のスタート地点は乱数表を用い、抽出間隔は「対象地点の名簿総数÷抽出数」にて決定しました。

各地域・市部町村部別の母集団数及び標本数・調査地点数は次のとおりです。

	山形市	その他の市部	町村部	計
村山地域	207,822	189,733	65,639	463,194
	402(26)	367(24)	127(8)	896(58)
最上地域		31,608	38,284	69,892
		122(8)	148(9)	270(17)
置賜地域		125,562	61,954	187,516
		243(16)	120(8)	363(24)
庄内地域		204,879	38,786	243,665
		396(26)	75(5)	471(31)
計	207,822	551,782	204,663	964,267
	402(26)	1,128(74)	470(30)	2,000(130)

(注) 上段：平成22年10月1日現在の母集団数

下段：標本数、()内は地点数

7. この報告書の見方

- (1) 図表の中の「N」とは、Number of Cases の略で、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことです。
- (2) 百分比は回答者総数（該当質問においては該当者数）全体に占める質問の選択者数の比率として算出しています。なお、図表では原則として小数点第2位を四捨五入しているため、百分比の合計が100.0%にならない場合があります。
- (3) 1つの質問について2つ以上の回答を求めたものもあり、従ってその場合の百分比の合計は100.0%を超えます。
- (4) クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。
- (5) クロス集計など各層別の分析において、回答者総数が僅少なものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として傾向をみるにとどめています。
- (6) 本文中の二重括弧『・・・』は2つの選択肢を総合したことを表します。
 (例：「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせて『賛成』と表現しています。)

また、選択肢等の語句を一部簡略化して表す場合にも用いています。
 (例：「保育所、学童保育等の保育施設の充実」を『保育施設の充実』と表現しています。)
- (7) 百分比(%) どうしの比較における差は、原則として「・・・ポイント」という表現としています。
- (8) **新規調査**とあるものは、今回新たに調査した項目です。
- (9) 前回調査（「H21年度意識調査」、「H18年度課題調査」、「H11年度意識調査」）とは調査設計に以下の違いがあります。

	今 回	H21年度意識調査
調査名	平成26年度ワーク・ライフ・バランス及び男女共同参画県民意識調査	平成21年度新男女共同参画計画意識調査
実施期間	平成26年8月～9月	平成21年7月～9月
調査対象	満20歳以上の男女2,000名	満20歳以上の男女1,300名
回収数 (正規標本数)	郵 送：900名(1,659) ウェブ：106名	727名(1,339)
調査方法	郵送及びウェブによるアンケート調査	調査員の個別面接によるアンケート調査
設問数	33問	30問
	H18年度課題調査	H11年度意識調査
調査名	平成18年度新世紀やまがた課題調査	平成11年度県民の意識調査
実施期間	平成18年7月～8月	平成11年9月
調査対象	満20歳以上の男女1,300名	満20歳以上の男女2,000名
回収数 (正規標本数)	1,044名(1,931)	1,067名(2,005)
調査方法	調査員の個別面接によるアンケート調査	郵送によるアンケート調査
設問数	34問中男女共同参画関連6問	23問